



Radian & Monitor
AVALON

部屋に案内されるとそこにはきれいな形のオブジェの様なスピーカーがあった。そのフォルムからしてオーナーたる彼の趣味のよさを物語るものであったが、そこから放射された音楽はあたかもピアニストがスピーカーの真中に突然現われた如く朗々としかも美しく演奏された。我が家の愛しのスピーカーシステムではこのようにくっきりとしたイメージを描くことは出来ない。「そうか、これがサウンドステージというものなのか。」言葉で知ってはいたが、実際に体験できることがなかったせいか、いささかショックと焦りを受けてしまった。私は呆然としてそのシステムが奏でる音楽にしばし我を忘れて聴き入っていた。

Monitor Specifications

◆ドライバー構成	2.5cmチタン・トゥイーター 18cmノーメックス/ケブラーウーファー
◆感度	87dB(2.83V, 1M)
◆インピーダンス	6Ω(ノミナル)、5.5Ω(最低)
◆ルームレスポンス	48(-3dB)以下~24kHz
◆無響室反応	60~24k Hz(±1.5dB)
◆推奨パワー	15~150w
◆外形寸法	H46/107(含スタンド)×W21.6×D26.7cm
◆重量(net, each)	14/24kg(含スタンド)

M

—アヴァロンを初めて体験なさったK氏の告白です。アヴァロンの最初のモデル、「アセント」から最新モデル「モニター」までその理詰めの設計によるフォルムは同一、完成度の高さの証明です。開発に際しては決して陳腐化しない究極のフォルムを創るべくデザイナーのチャールス・ハンセンは理想のスピーカー設計に挑戦しました。日進月歩のオーディオ界にあってそれは非常に困難なことです。そのために当初より複雑かつ多岐に渡る条件をインプットし、それらをクリアすべくコンピューターを駆使しました。

スピーカーは余計な付帯音を発してはならない。キャビネット自体が共振、共鳴してはそこで発せられる音は余計なもの聴き手に聴かせることとなります。殆どのスピーカーがこの目的を達成するために様々な方法を試みていますが、アヴァロンは次の方法で徹底しました。①バツフル面反

射を極度に抑えるべくドライバーユニットとバツフル面との幅を限りなく近づけた。②バツフル面を出来るだけ厚く、しかも共振性に優れたMDFの積層とした。③キャビネット側面、背面、上部、底部もMDF二層とし、適所に垂鉛板を配置更に内張りによりダンピング特性を強化した。④十分なクロス・ブレイシングを行い、内部補強を完全に行った。⑤表面には更に硬質の木質系ダンピング材を一層追加。⑥共振に対して非常に強い黄金率理論を応用したカルダスケープルを内部配線に使用。⑦妨弾チョッキの素材として知られるケブラー、ノーメックスのコーンを使用し、ドライバーユニット自体の共振をも排除した。

サウンドステージの明確な表現のために

① 2 バイ空間と 4 バイ空間とを複合化した独特のフォルムを考案した。このフォルムは発表後数社がコピーし、そ

の模倣製品を隠れもなく発売した程である。(物まねは最大の賛辞である、と私たちは受け止めました) ②ユニットをテクロンTEF測定器で一本一本実際の動特性を得て完璧なマッチングを行う。スイープノイズのカーブが全く同じに重なるほどの近似特性のユニット同士をペアマッチさせイメージングの完璧性を図る。③ネットワークについては、3/1000の精度で部品をマッチさせ、完成されたネットワーク自体をも3/1000の許容度で選別し左右のユニットをマッチさせている。

家具としての美しさを

① 無共室の特性を参考値として止め、実際に使用される条件で、部屋の反射による音域サポートをも考慮してキャビネットフォルムを決定。そのためにはコンピューターによる広範囲なデータプロセッシングを行い、多岐に渡る多様

いつしかオーディオシステムは私の視覚から完全に消え去り、そこに放たれる上質な音楽の洪水にわが身を委ねる。今まで見もしなかった新しい音楽表現が、今まで感じ取ることさえ出来なかった豊かな色彩が、そして音楽情景が、このスピーカーによって体験でき得る。限られた時間を音楽を聴いて過ごすなら、飛び切り上等の音楽を奏でる装置とともに過ごしたい。いま、アヴァロンを我が家にセットし音楽をかける時間が待ち遠しい。こんな青年のようなエネルギーを緊張感とともに持続できる私はとても幸せとつくづく思う。永遠の音楽に感謝を込めて乾杯！

R

Radian Specifications

◆ドライバー構成	2.5cmチタン・トゥイーター 8.9cmノーマックス/ケブラー・ミッドレンジ 25cmノーマックス/ケブラー・ウーファー2機
◆ウーファー感度	88dB (2.83V, 1M)
◆インピーダンス	4Ω (ノミナル)、3.6Ω (最低)
◆ルームレスポンス	20 (-3dB) ~ 24k Hz
◆無響室反応	34 ~ 24kHz (±1.5dB)
◆推奨パワー	50 ~ 500w
◆外形寸法	H122 × W30.5 × D48.3cm
◆重量 (net, each)	77kg

の使用条件故、膨大なシミュレーションが不可欠であった。②優れたトランジェント特性を得るために音の立ち上がりのみならずセトルタイムに注目し、キャビネットQを0.5に敢えて設定した。これによって、スピーカーのモーションを止める速度が大幅に速まり、音の実在感がよりリアリティーを増して追ってくる。

完成度の高い音楽表現のために

アヴァロンは家庭で使用することを前提としたスピーカーシステムです。ですから、その仕上げには非常に神経を使い、伝統工芸的家具職人の手でその仕上げ材の木目をブックマッチ方式で十分時間をかけて数あるストックの中から選りすぐります。それを釘、ねじ等を一切使用せず手作業でキャビネットに仕上げます。更に高級家具の最終行程を行う塗装工場に搬入して入念なオイル磨き込み

工程を経て完成されます。音質のみならず美しいオブジェとして室内での無言の存在主張を行うシステム。デザインに造詣が深い宝石デザイナー、服飾デザイナー、建築設計士の方々、そしてなによりセンスの良い感受性の高い方々(特にご婦人方)よりその洗練された都会的デザインが絶賛されております。最高級の品質と音質とを手にする喜びをオーナーの皆様というアヴァロンの主張です。

限りなきイリュージョン

ドラムスのスキン材質までも聞き分ける事の出来る非常に明快な解像力。各演奏家の手や身体の動き、例えば、ドラムソロでの左右手足の動き、コーラスグループ各パートの様子、全身でリズムをとる身体の動きと躍動感、ギタープレイヤーのリフの掛け合いとその後に位置するバックコーラスの厚み。静寂から突然立ち上がるトランペット

の調べ。オーケストラ中央やや奥まった位置でのハーブの繊細なタッチ。演奏家の息吹までも伝え、そして細かいテクニックも細大らさず表現。はっと息を飲むダイナミックなティンパニーの旋律。そしてピアノシモでのバイオリンの繊細な表現。その一つ一つがくっきりとした音像を伴って聴き手の眼前に現われます。これがアヴァロンスピーカーの世界です。一度視覚的イメージを体験なされると、もう元には戻れません。なぜなら、私たちはスピーカーの前では完全に盲目であり、そこに演奏家の出現を期待するからです。スピーカーシステムは音量から音質、そして、情景描写の質を論じる時代へと変わってきているのです。

Radian & Monitor
AVALON



Avalon Radian

「レディアン」アセントのクオリティをそのままに、低域をよりリッチにしたハイクオリティスピーカーです。その包み込むような豊潤でしかもタイトなベースノートが最大の特長。サウンドステージ表現力、微妙なそして繊細なニュアンスの表現はアセント譲りの克明な情景描写を行います。ネットワーク一体型のため設置条件が広範囲に、しかも、比較的簡単な調整ですばらしいアヴァロンサウンドが手に入ります。

ネットワークは新開発のダンピングマテリアルを使用、キャビネット内部ハウジングながら共振からの完璧な隔離を行いました。ドライバーはアヴァロン伝統のヘビーバツフル、13cm厚のバツフル面に取り付けられ徹底した共振対策が施されています。アヴァロンの優れた特長を全て具現化したモデルとして、3ウェイデザインのベンチマークとして、登場です。

Avalon Monitor

優れたサウンドステージを気楽に楽しみたい、唄い手が私の勝手な都合で好きな時間にわが家に訪れる如く、目の前で唄ってもらいたい。「モニター」はアヴァロン支持者の生の声を生かして、どなたにも気軽に楽しんでいただけるシステムとして発表。独自の時間軸反応モデルベース補正理論を応用した最初のモデルで、そのサイズからは想像できない程のスケールとリアリティをもった音楽を再生します。特にサウンドステージの表現力は非常に素晴らしく各パートの位置が手にとるように分かり、新たな音楽体験に聴き手を引き込んでいきます。バツフル面は7.5cm厚、結果として密閉型では得られなかったタイトなベース、特筆すべきサウンドステージ表現力を備えることができました。帯域もサイズからは想像できないほどに広く、必要にして十分。アヴァロン伝統の家具職人による繊細なキャビネットウッドワーク。ハイクオリティなモニタースピーカーとして、又、上質なメインシステムとして、広い用途でユーザーの厳しい要求に応えます。

